

個人質問

議会事務局 処理欄	令和4年2月10日 15時45分 受付
	質問順位 第9番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和4年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 糖尿病の重症化予防について	<p>【趣旨説明】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行で、糖尿病を有する人の重症化リスクが注目されています。2021年6月に開催された米国糖尿病学会の中で「糖尿病が新型コロナの重篤化するもっとも重要な危険因子のひとつであることが明らかになり、糖尿病の治療が重要であるという意識がより強く求められている」と医療科学部門の最高責任者は述べています。さらにコロナに感染し死亡した米国人の40%で高血糖がみられ、新型コロナで入院した患者が糖尿病の場合、10人に1人が1週間以内で死亡したという衝撃的な調査結果が公表されました。一方、糖尿病であっても適切な治療を受け血糖コントロールが良好であれば重症化しにくいことも確認されました。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、患者さんが感染リスクを恐れることにより医療機関への受診を控え、生活習慣病を含む持病や急性疾患の症状が悪化することが危惧されています。感染症対策のためにも、糖尿病の人はふだんから良好な血糖コントロールを維持し、糖尿病合併症を予防する必要があります。</p> <p>また、糖尿病は長期・重症化する疾患として75歳以上の後期高齢者においても重要な問題です。令和元年国民健康・栄養調査でも、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性19.7%、女性10.8%で年齢が上がるとともに男女ともに有病者が増える傾向が、コロナ前からすでに続いていました。国は令和2年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を進めており、75歳で後期高齢者医療保険に切り替わっても健康診断の結果や支援内容の情報が途切れることなく、継続的な支援を行うことを求めています。2025年には「団塊の世代」800万人が後期高齢者となり、75歳以上人口は約2,200万人になると予想されています。糖尿病重症化予防の取り組みに関しても、国民健康保険が持つ特定健診や治療中断者のデータを断絶することなく、すべての糖尿病患者を重症化させないよう後期高齢者を含めた一体的な事業運営が必要になっています。</p> <p>そこで、本町における国民健康保険の糖尿病重症化予防について以下6点の質問をさせていただきます。</p>

【質問事項】

- ① 本町における糖尿病の重症化予防の取り組みを教えてください。
- ② 本町の糖尿病患者の現状（人数および医療費）および透析患者数、透析にかかった医療費、また糖尿病が原因で透析になってしまった方たちの割合を教えてください。
- ③ 治療中断者への受診勧奨については、過去に薬物治療をされていて現在中断されていた方は全て対象になるべきと考えますが、本町の治療中断者勧奨の対象者の抽出基準と実施人数を合わせて教えてください。
- ④ 2019年3月に厚生労働省保険局国民健康保険課から「糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き」が発表されておりますが、この手引の冒頭で「事業実施対象者の抽出にレセプトを用いている保険者が少ない」ことが指摘されております。レセプト（＝診療報酬明細書）を活用することで「健診未受診の人たちの中から糖尿病治療を中断している人」を見つけることができるそうです。本町では、この「健診を受けていない治療中断者の方たち」への受診勧奨はできているのでしょうか。
- ⑤ 市町村では国民健康保険対象者のレセプトデータを5年間保存されていると思います。本町においては、直近5年間の糖尿病治療中断者はどれくらいいるのか把握されているのでしょうか。直近5年間に糖尿病治療歴があるが、最近1年間（または一定期間）に糖尿病受診歴がない方の人数を教えてください。
- ⑥ 本町においても透析予防対策、糖尿病重症化予防の対策としても、出来る限り遡り（最低5年間）治療中断者を抽出し、確実にすべての対象者に受診勧奨するべきと考えますが、本町のお考えは、いかがでしょうか。